



そして海へ ・ぎふの清流づくり

児童らが鮎の放流や植樹

第30回全国豊かな海づくり大会「ぎふ長良川大会」の関連行事として、6月12日、馬瀬地域で式典や児童らによる植樹・鮎の稚魚の放流などを行いました。

行事は、第61回下呂市みどりの祭りを兼ねて開催し、約千人が参加。地元出身の国会議員や下流域を代表して名古屋市の山田雅雄副市長も参加されました。

旧総島小体育館では、式典に続き、馬瀬小や金山小の児童たちが森・川・海のつながりや山づくりの大切さを発表。その後、会場を水辺の館周辺に移し、アユの稚魚の放流やイチヨウ、カツラ、コブシの苗木の植樹を行い、豊かな清流を守ることの大切さをアピールしました。

下呂市で開催された第57回全国植樹祭から4年。持続可能な森林づくりの大切さは、森、川、海が一体となった水環境保全の取り組み、そして「清流の国 ぎふ」づくりへとつながっています。



ステージイベントで元気に歌やダンスを披露するわかあゆ保育園の園児。



式典会場の旧総島小体育館に集まった大勢の市民。



「海づくりは山づくりから」と学習成果を発表する馬瀬小の児童。



森から川へ
ふるさと



全国豊かな海づくり大会 サテライト 下呂市会場 トピックス 6/12



新一年生にモミジの苗木がプレゼントされました（写真上）
野村市長と児童によるカツラの植樹（写真右）

